

# 館山市・南房総市定住自立圏 共生ビジョン

令和4年度～令和8年度

令和6年度第2回ビジョン懇談会資料

共生ビジョン改訂（案）

※赤字部分が修正箇所です。

※目次と資料編は省略しています。

令和4年9月策定

令和7年3月改訂

千葉県館山市・南房総市

# 1. 定住自立圏共生ビジョンについて

## (1) 定住自立圏構想の概要

我が国の総人口は、平成20（2008）年以降、一貫して減少しています。今後は、三大都市圏でも人口減少が予測されており、特に地方においては、生産年齢人口の大幅な減少と急速な少子・高齢化が見込まれています。

このような状況を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

定住自立圏構想は、市町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、NPOや企業といった民間の担い手を含め、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

## (2) これまでの取組

令和元年9月27日	館山市が定住自立圏構想における「中心市宣言」を行う。
令和2年7月3日	館山市と南房総市が定住自立圏形成協定を締結。
令和3年10月8日	令和3年度第1回館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催。
令和4年5月18日	令和4年度第1回館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催。
令和4年6月6日から 令和4年7月8日まで	共生ビジョン（原案）に係るパブリックコメントを実施。
令和4年8月22日から 令和4年8月31日まで	令和4年度第2回館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催。【書面開催】
<u>令和4年9月26日</u>	<u>館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン策定</u>
<u>令和5年10月5日</u>	<u>令和5年度第1回館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催。</u>
<u>令和6年8月21日</u>	<u>令和6年度第1回館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催。</u>

**(3) 定住自立圏の名称**

館山市・南房総市定住自立圏

**(4) 圏域を形成する市町村の名称**

館山市、南房総市

**(5) 共生ビジョンの目的**

本ビジョンは、本圏域が定住のために必要な生活機能を確保するとともに、自立のための地域基盤を育み、地域の活性化を図るために必要な具体的取組を示すものです。

**(6) 共生ビジョンの計画期間**

令和4年度から令和8年度までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

## 2. 圏域の概況

### (1) 圏域の概況

千葉県南端に位置する本圏域は、館山市と南房総市で構成され、西は東京湾、東は太平洋に面し、海岸線は南房総国定公園に指定されています。内陸部には緑豊かな田園や照葉樹林の丘陵が広がっており、年間平均気温は16℃以上と、冬でも花が咲き誇る温暖な気候に恵まれた自然豊かな地域です。半島性という地理的特性を有しながら、東京湾アクアラインと東関東自動車道館山線の全線開通により、東京都心からのアクセスは飛躍的に向上しました。

#### <館山市>



##### ●市の紋章

カタカナの「タ」と「テ」が漢字の「山」を囲む図柄となっています。(昭和14年12月設定)

- 人口 45,153人(総務省「国勢調査」2020)
- 世帯数 20,272世帯(総務省「国勢調査」2020)
- 面積 110.05km<sup>2</sup>(国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」2022)
- 市の紹介

温暖な気候に恵まれ、1月にはポピーやストック、菜の花が咲き誇る「花のまち」です。34.3kmの変化に富んだ海岸線には、別名「鏡ヶ浦」とも呼ばれる館山湾越しに臨む富士山や夕日の絶景、美しい砂浜が広がる平砂浦海岸など、数多くの景勝地が存在し、また、サンゴやウミホタルの生息域として貴重な海洋生物資源を有しています。さらに、スキューバダイビングをはじめとしたマリンスポーツや夏の海水浴の適地としても知られています。「館山夕日栈橋(館山湾多目的観光栈橋)」や交流拠点「“渚の駅”たてやま」の完成により、海の玄関口としての整備も進んでいます。

#### <南房総市>



##### ●市章

7つの地域を広がりのある花びら7枚にたとえて、南房総の暖かい春のイメージを図案化したものです。

南房総市の夢と希望が自然と共存し発展する姿を表しています。(平成18年3月施行)

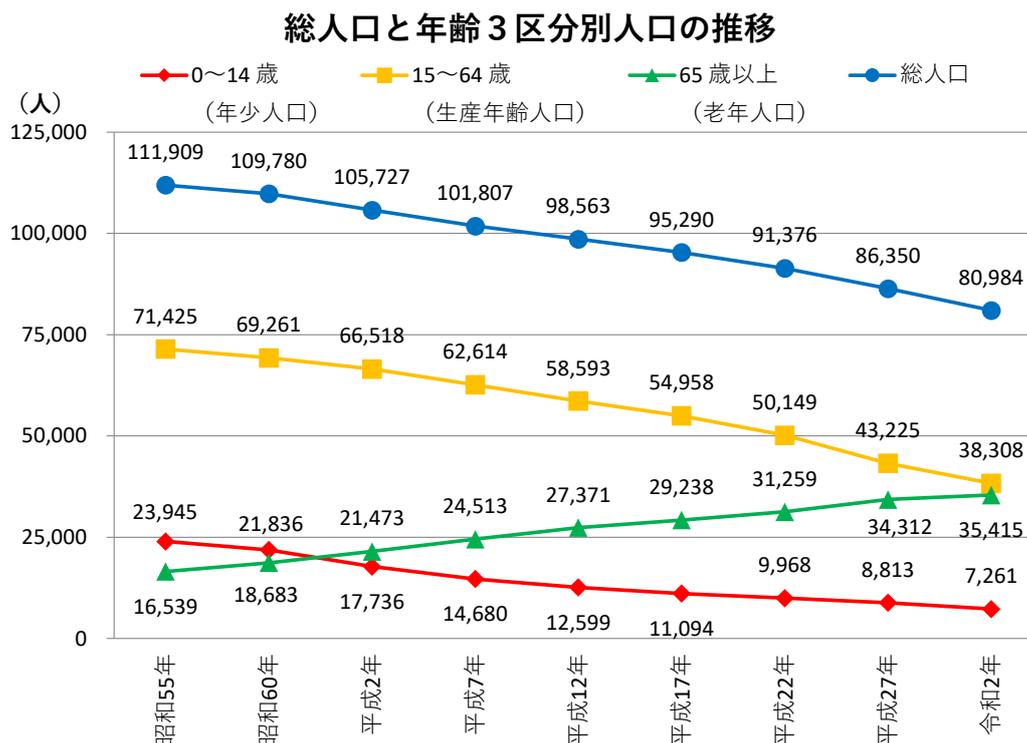
- 人口 35,831人(総務省「国勢調査」2020)
- 世帯数 14,720世帯(総務省「国勢調査」2020)
- 面積 229.55km<sup>2</sup>(国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」2022)

## ●市の紹介

平成18年3月20日に安房郡富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の6町1村が、その区域をもって合併しました。市域の北側には県下最高峰の愛宕山（408m）をはじめ、富山（349m）、伊予ヶ岳（336m）などの緑濃い山々が連なり、他の三方は東京湾と雄大な太平洋に面した自然の恵み豊かな地域です。暖流の影響により冬は暖かく夏は涼しい海洋性の温暖な気候で、一部無霜地域を有しています。四季折々に咲き乱れる花々などの豊かな自然資源と、古代から近代に至る遺跡や社寺などの歴史的資源を有しています。

## ◆人口の推移

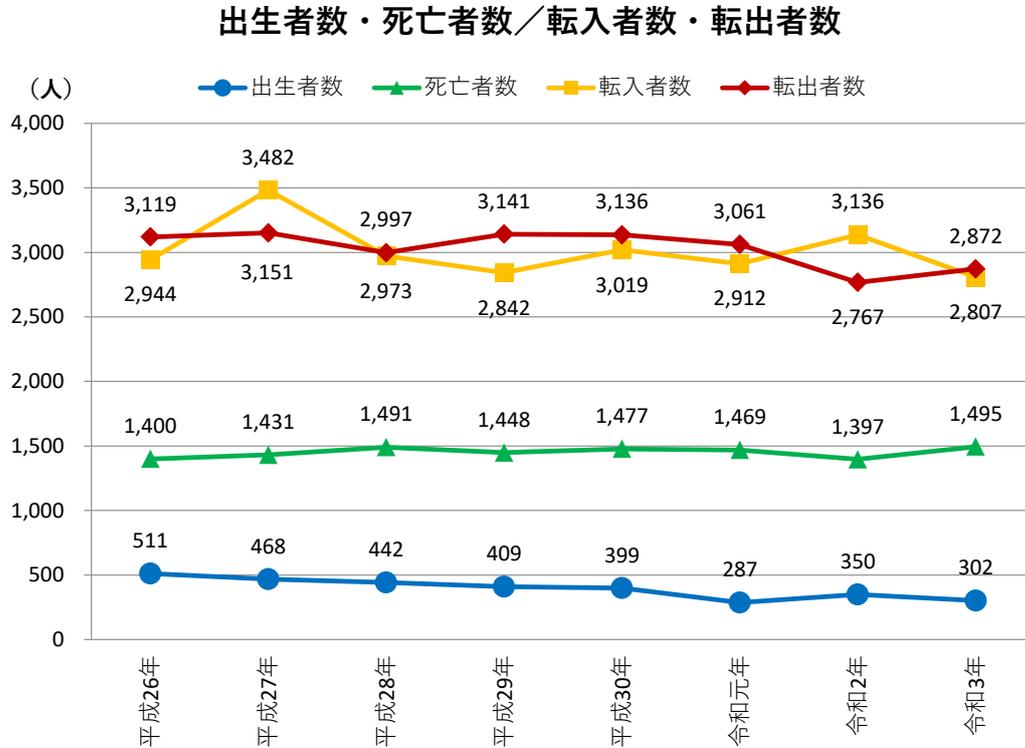
圏域の総人口は昭和55年の111,909人から一貫して減少しており、令和2年には80,984人となっています。年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向にある一方で、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあります。



出典：総務省「国勢調査」

### ◆人口動態（出生者数・死亡者数／転入者数・転出者数）

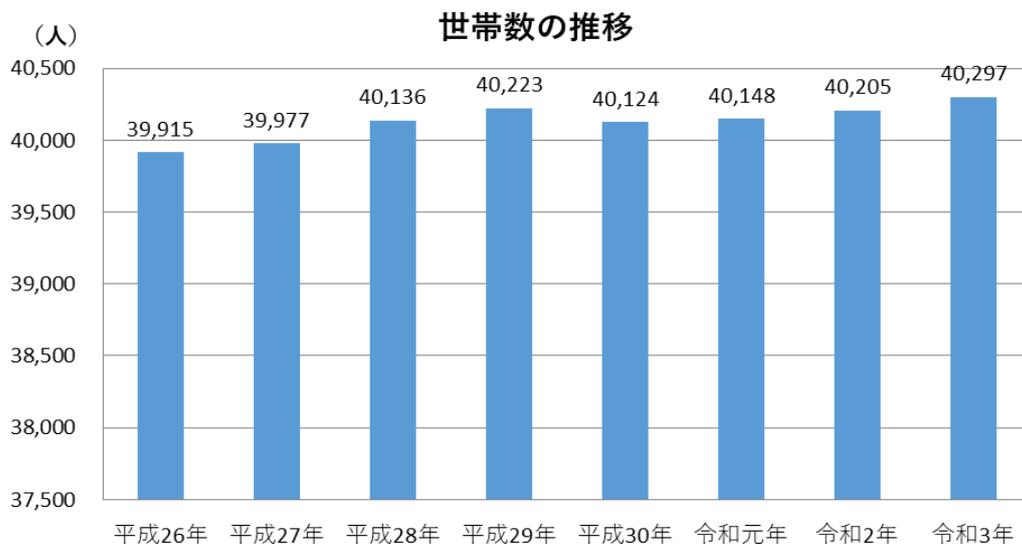
死亡者数はほぼ横ばい、出生者数は減少傾向にあり、自然減の状態が続いています。社会増減は年によって変動がありますが、転出者数が転入者数を若干上回る年が多くなっています。



出典：千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）

### ◆世帯数の推移

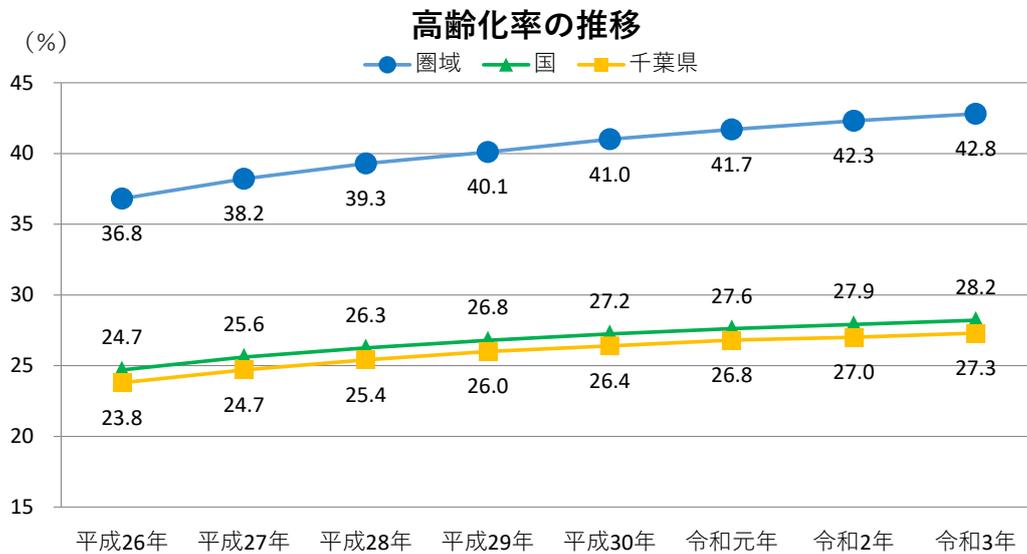
世帯数は、平成29年まで増加傾向にあり、平成30年と令和元年で減少したものの、令和2年以降は再度増加しています。



出典：千葉県年齢別・町丁字別人口調査（住民基本台帳人口ベース）

## ◆高齢化率の推移

国や千葉県と比べると、圏域の高齢化率は1.5倍程高く、上昇のペースも速くなっています。

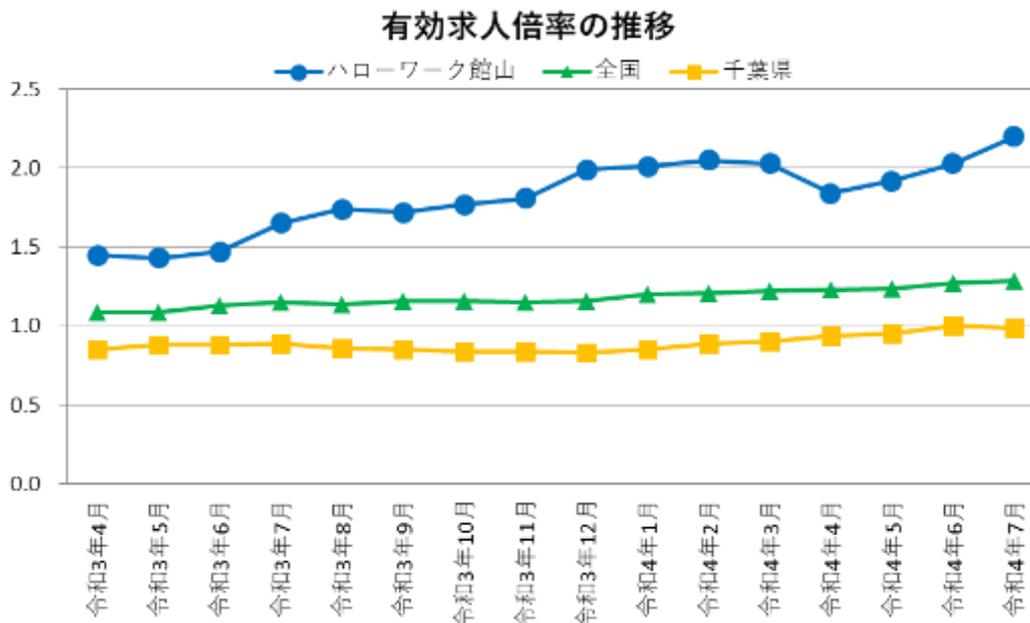


出典：「千葉県年齢別・町丁字別人口」

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

## ◆有効求人倍率の推移

直近1年間の有効求人倍率の推移をみると、ハローワーク館山管内では、国や県を上回る水準となっており、千葉県下では最も高くなっています。

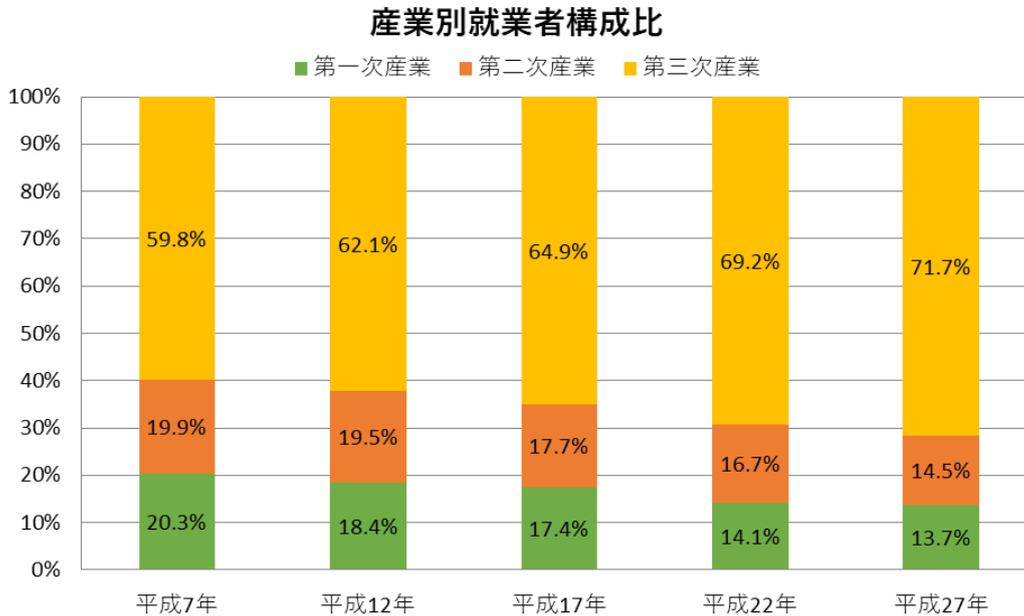


出典：厚生労働省千葉労働局「最近の雇用失業情勢」定例記者発表資料

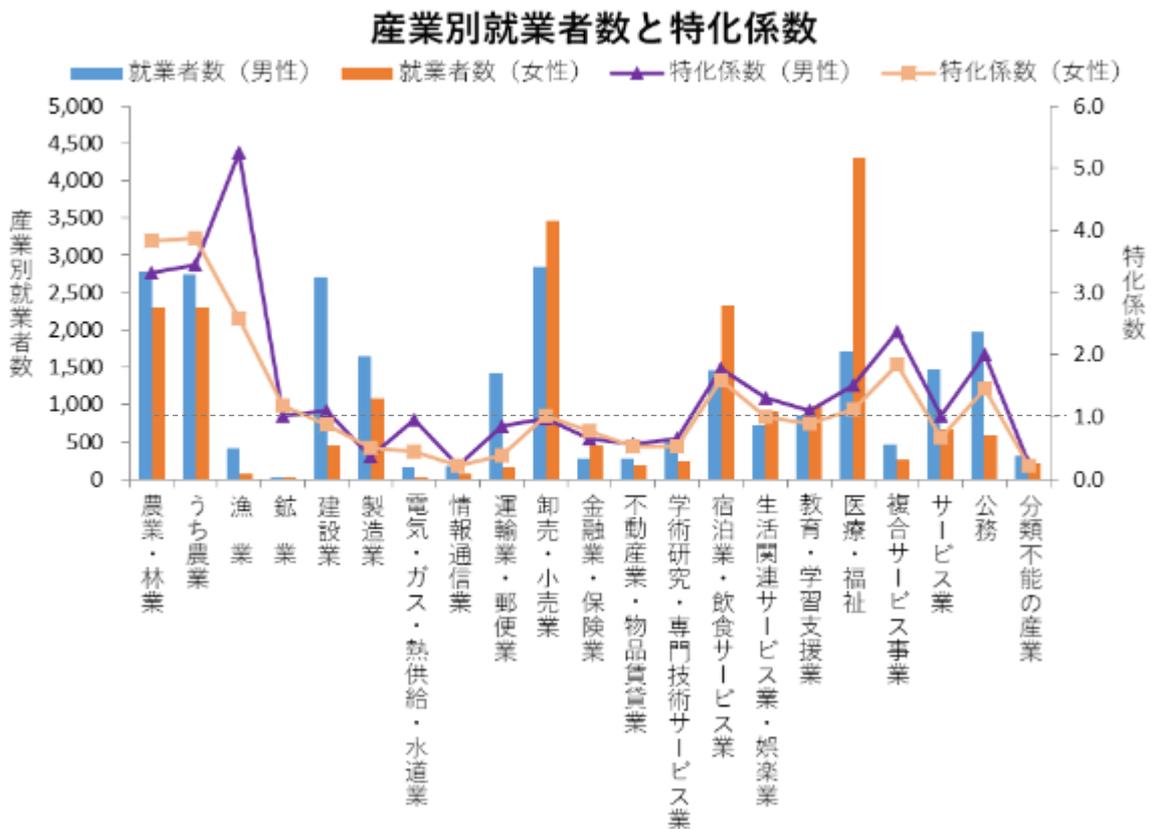
※ハローワーク館山管轄区域：館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町

## ◆産業関連データの推移

平成7年に約6割だった第三次産業の割合が一貫して増加しており、平成27年には約7割となっています。



出典：総務省「国勢調査」2015



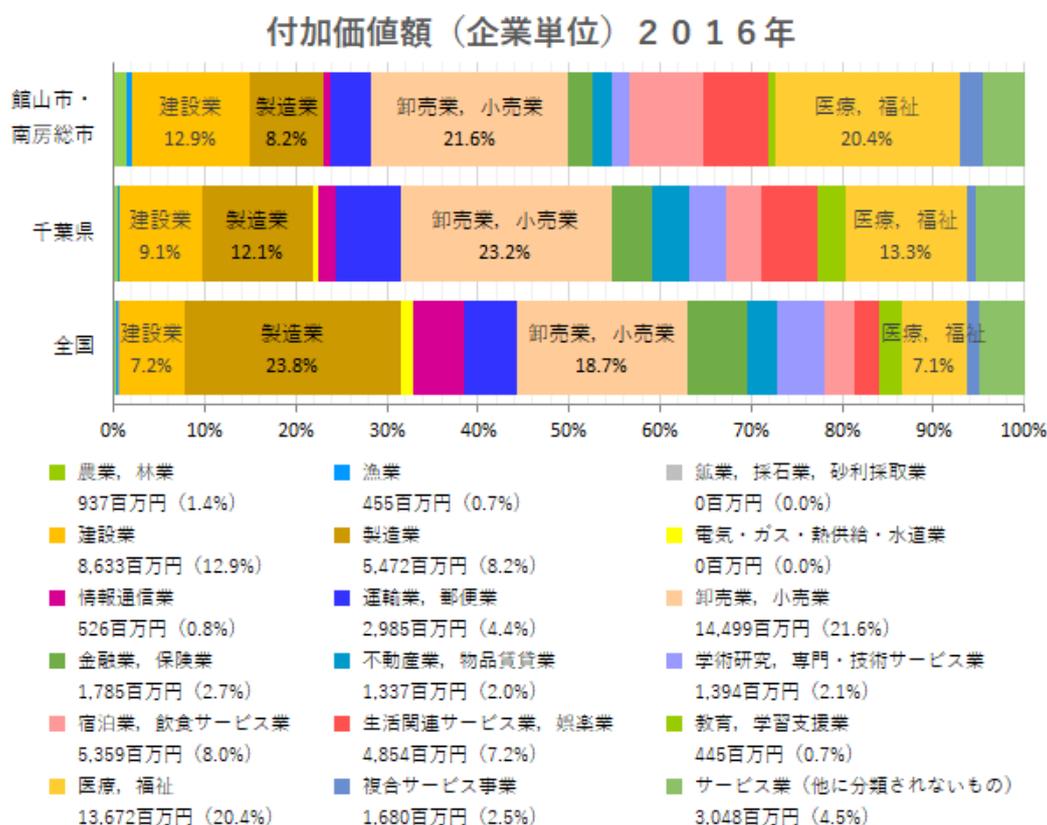
出典：総務省「国勢調査」2015

就業者数が多い産業は、男性では「農業・林業」、「建設業」、「卸売・小売業」、女性では「医療・福祉」、「卸売・小売業」、「農業・林業」となっています。

特化係数※が高い産業は、男性では「漁業」、「農業・林業」、「複合サービス事業」、女性では「農業・林業」、「複合サービス事業」、「宿泊業・飲食サービス業」となっています。

※特化係数：各産業の付加価値額が全産業の付加価値額に占める割合について、国を1とした時の係数。特化係数が大きいものほど特徴的な産業であることを意味する。

全国や千葉県と比べると、圏域では「建設業」、「医療、福祉」、「宿泊業、飲食サービス業」の付加価値額の割合が高くなっています。一方、「製造業」の割合は低くなっています。



出典：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、RESASによる再編加工

## (2) 圏域の課題

本圏域は東京の中心部から100km圏と、東京都心に近い立地条件にありながら、温暖な気候と輝く海、緑豊かな自然に囲まれ、恵まれた環境のもと、次世代に引き継ぐべき大切な歴史や伝統・文化を育んできた「住み良い」地域です。しかし、近年では人口減少と少子高齢化の進行、若年層の流出など日本全体が抱える構造的な人口問題により、自治体そのものの持続性・継続性が危ぶまれています。

これらのことを踏まえ、子どもが生き生きと育つ環境づくりに努めながら、若年層の定住・移住を促していくために、課題を次のとおり整理します。

### ① 本圏域で子どもが生き生きと育つ環境をつくる

令和2年(2020年)国勢調査によれば、圏域の15歳未満人口は、7,261人となっており、平成27年(2015年)の8,813人から5年間で約1,500人減少し、少子化がさらに進行しています。安心して子どもを産み、育てられる環境づくり、子どもがのびのびと、生き生きと育つ環境づくりをより加速する必要があります。

### ② 本圏域で働ける、経済が元気な環境をつくる

本圏域の産業は、東京からのアクセスの良さを活かした観光業や恵まれた気候・風土の下で培われてきた農水産業、地域の拠点性の高さを利用した商工業が中心となっています。本圏域のように、豊かな自然と多様な資源に恵まれた地域への関心が高まれば、健康・観光など、さまざまなビジネスチャンスも生まれるものと思われれます。企業のみならず、起業家などの人材誘致に努めつつ、本圏域の強みを活かした産業と雇用の場づくりに努めていく必要があります。

### ③ 本圏域に住み続ける人・移り住む人・関わる人を増やす

暖かい気候と人柄を兼ね備える本圏域は、子育てに適した地域です。これは、特に東京など都市に暮らす人々にとっても魅力となりえます。あらゆる機会を捉え、積極的に本圏域の住みやすさについての情報発信に努めるとともに、住民・事業者などと連携して本圏域への移住を支援していく必要があります。

また、本圏域に居住しなくとも、週末を本圏域で過ごす、観光で訪れる、仕事で縁ができたなど、さまざまな形で本圏域と関係を築く人を増やしていくことも重要です。

### (3) 圏域の結びつき

館山市と南房総市では、行政区域を超えるさまざまな住民ニーズに対応するため、連携し調整を図りながら共同による行政事務処理を実施しています。

制度	名称	主な共同処理事務の内容	構成自治体
一部事務組合 ※1	安房郡市広域市町村圏事務組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬場に関すること</li> <li>・消防に関すること</li> <li>・市町村等職員共同研修に関すること</li> <li>・市町村等職員採用試験に関すること</li> <li>・地域救急医療対策に関すること</li> <li>・安房地域の水道事業に係る統合協議会の事務局に関すること</li> </ul>	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
機関等の共同設置※2	障害者自立支援協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者総合支援法に基づく協議会を安房3市1町で共同開催。</li> <li>・地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う。</li> </ul>	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
その他	安房郡市保健連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・予防・健診に関すること</li> </ul>	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
	「新型コロナワクチン接種」の集団接種の予約受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新型コロナワクチン接種」の集団接種の予約受付に関すること</li> </ul>	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
	安房地域包括ケア連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステム構築に向けた体制及びネットワークづくりに関すること</li> </ul>	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町

房州うちわ振興協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・房州うちわの需要開拓事業</li> <li>・伝統的工芸品出展事業</li> <li>・児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業</li> <li>・後継者育成事業</li> </ul>	館山市 南房総市
南房総観光連盟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光推進、振興に関すること</li> </ul>	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
宿泊・滞在型観光推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光推進に関すること</li> </ul>	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町 富津市
南房総・館山地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網形成計画の策定及び変更の協議に関すること</li> <li>・網形成計画の実施に係る必要な協議に関すること</li> <li>・網形成計画に位置づけられた事業の実施に関すること</li> </ul>	館山市 南房総市
東関東自動車道館山線・一般国道127号富津館山道路建設促進期成同盟会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備促進に係る要望活動の実施</li> </ul>	木更津市 君津市 富津市 館山市 南房総市 鋸南町
高規格道路「館山・鴨川道路」整備促進期成同盟会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備促進に係る要望活動の実施</li> </ul>	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
2級河川滝川改修促進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2級河川滝川改修促進に係る要望活動の実施</li> </ul>	館山市 南房総市

※1：一部事務組合：2以上の地方公共団体が、その事務の一部を共同して処理するために協議により規約を定めて設置する事務の共同処理機構。

※2：機関等の共同設置（地方自治法252条の7）：協議により規約を定め、執行機関として委員会若しくは委員、執行機関の附属機関、執行機関の事務を補助する吏員、書記その他の職員及び専門委員を共同設置する。

※この他にも、多くの事務を連携して処理しています。

### 3. 圏域の将来像

---

#### (1) 圏域の将来像 ～ともに創る開かれたまち～

我が国では少子高齢化の急速な進行や、産業・経済のグローバル化・デジタル化など、これまで経験したことのない大きな転換期を迎えています。

地方においても人口減少の加速や地域経済の低迷など、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しいものとなっており、効率的かつ効果的な行政システムの構築が求められています。

将来に向けて、複雑多様化する課題に対応しながら、本圏域が持続的に発展していくためには、単独自治体での事業展開に加え、圏域の2市それぞれが持つ都市機能や地域資源を有効に活用し合いながら、様々な課題に対して相互に連携し、圏域全体で生活に必要な機能を充実させ、確保することがこれまで以上に重要となっています。

医療・福祉サービスの充実、商業・観光の振興、教育文化及び健康・スポーツ活動などで2市が互いに協力・連携することにより、圏域への人の流れを促進し、地域資源を活かした魅力あふれる地域づくりを推進します。また、若者のアイデア・行動力を活かした地域活性化を通じ、若者の地元定着及びU I J ターンの促進を図ることで、地域を支える人材育成も推進します。

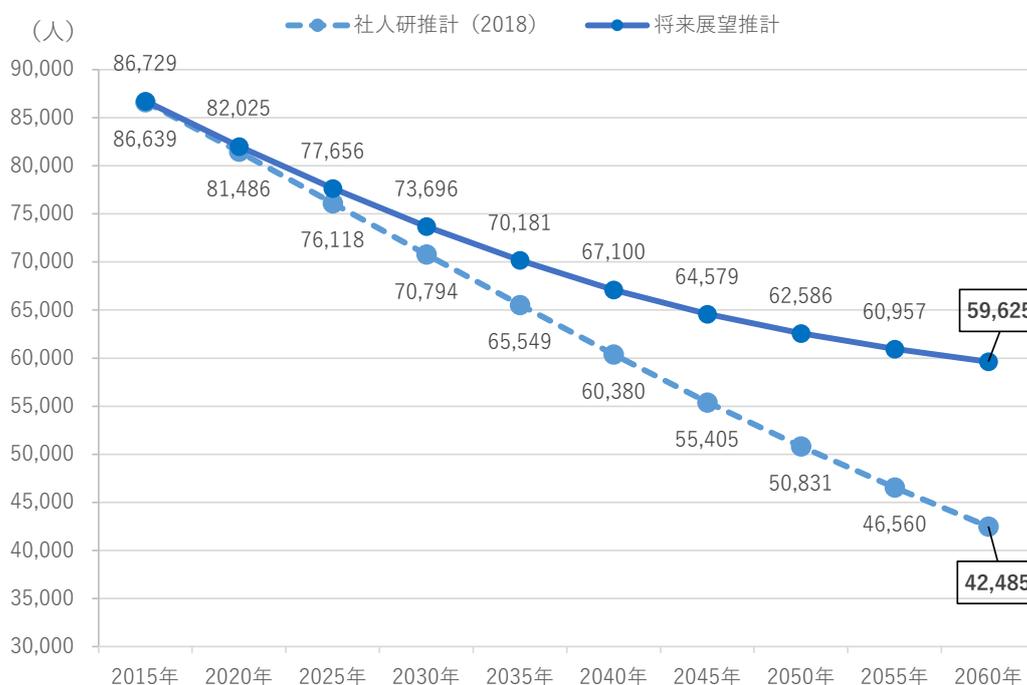
## (2) 圏域の将来展望人口（将来推計人口）

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の将来推計人口によると、圏域の人口は一貫して減少し、2060年には42,485人（館山市：26,712人／南房総市：15,773人）となると予測されています。

しかし、人口減少抑制の政策効果によって、将来展望人口は2060年に59,625人（館山市：29,337人／南房総市：30,288人）となると見込んでいます。

なお、将来展望人口については、両市の人口ビジョンにおける数値を合計したものであり、互いの市からの転入人口を重複して計算していることに留意する必要があります。

### 将来推計人口



「第2期館山市人口ビジョン」および「南房総市人口ビジョン」を基に作成

## 4. 定住自立圏形成協定に基づく具体的な取組

### (1) 体系図

分野	項目	事業名
<b>1 生活機能の強化に係る政策分野</b>		
医療	地域医療の維持・充実	① 医療体制の維持及び医療人材の確保事業
福祉	子育て支援等、障害者福祉、高齢者福祉の充実	② 支援対象児童等見守り強化事業
		③ 介護人材確保に向けた普及啓発事業
		④ 地域密着型サービス等の適正化に関する共同処理事業
<u>防災</u>	<u>災害に強いまちづくりの推進</u>	⑱ <u>災害発生時における被災者支援</u>
産業振興	農林水産業の振興	⑤ 有害鳥獣被害防止技術向上事業
	商工業の振興	⑥ 中小企業支援事業
	観光の振興	⑦ データに基づく戦略的観光プロモーション
環境	自然環境の保全・循環型社会の構築	⑧ 地球温暖化防止対策事業
教育	教育の振興	⑨ 生涯学習活動振興連携事業
		⑩ 社会体育施設連携事業
		⑪ 学校の魅力向上推進事業
<b>2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野</b>		
交通	交通ネットワーク等の維持・整備	⑫ 南房総・館山地域公共交通活性化推進事業
移住・定住・交流	地域内外の住民との交流・移住定住の促進	⑬ 移住定住・就業促進事業
		⑭ ふるさと納税共通返礼品の企画・開発とPR
<b>3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野</b>		
圏域マネジメント能力の強化	圏域の人材及び職員の育成並びに民間専門人材の活用	⑮ 職員の資質等向上事業
		⑯ 外部専門人材活用事業
	圏域マネジメントの能力の強化に係る取組	⑰ 情報化推進（業務効率化）事業

## (2) 具体的な取組

### 1 生活機能の強化に係る政策分野

#### <現状と課題>

人口減少、超高齢化社会が加速する中では、子育て・医療・介護・福祉分野の充実は重要な課題です。安房地域の医療福祉体制は全国的にも恵まれており、地域の就業の場としても重要な位置づけとなっていますが、看護職や介護職などの担い手不足は深刻で、全国的な人材の奪い合いとなっており、人材確保に向けた支援の強化がより一層重要となっています。

商工業の活性化については、商工会議所や商工会等の関係団体との連携が重要であり、互いに協力して起業・創業の促進や雇用の創出等を図る取組が必要です。

また、本圏域は温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、新鮮な海産物や豊かな大地で育まれた多様な農産物、加えて、戦国大名里見氏ゆかりの史跡や寺社、首都東京防衛の歴史を物語る戦争遺跡、さらには、温泉や魅力のある海を活かしたスポーツ観光等に至るまで多種多様な観光資源、歴史文化遺産を有しています。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、観光客数・宿泊客数とも激減し、圏域内の観光産業は大きな打撃を受けましたが、今後は、感染症の世界的な動向を見据え、観光地としての安全性を確保しつつ、国内観光客・外国人観光客への積極的な情報発信を行い、関心を向けてもらう必要があります。

#### 重要業績評価指標（KPI）の一覧

指標名	現状値	目標値
事業を通じた起業者数 (中小企業支援)	—	25件
観光入込客数 (観光プロモーション)	4,391千人	7,490千人
宿泊客数 (観光プロモーション)	591千人	1,020千人

※重要業績評価指数（KPI）については、原則、以下のとおり記載しています。

現状値：令和2年度の実績値

目標値：令和8年度の目標値

## 医療

### 地域医療の維持・充実

- 【取組の内容】 圏域の医療体制の維持・充実を図るため、救急医療事業等を支援する。また、看護師等の医療人材の育成・確保のための必要な取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、地域医療体制の維持・充実に必要な事業及び支援を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、地域医療体制の維持・充実に必要な事業及び支援を行う。

事業名	① 医療体制の維持及び医療人材の確保事業					区分	新規
事業概要	小児科医や看護師等の医療人材が不足する中、圏域内の医療体制の維持、充実を図るため、安房医師会と連携し、医療人材の育成・確保を進めるとともに、周産期及び小児科の医療体制など、地域医療の調査・研究に取り組む。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	圏域内の医療機関の機能強化が図られるとともに、圏域内で将来を担う子ども達が健康に暮らせる環境整備が図られる。						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	館山市が中心となり、圏域内の医療体制の維持・充実に向けて必要な取組を実施し、南房総市はそのサポートを行う。						
総事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

## 福祉

### 子育て支援等、障害者福祉、高齢者福祉の充実

【取組の内容】 官民連携により、保護者の子育てと就労の両立が図れる、子育てしやすい環境づくりを推進する。また、子どもの出生数の増に向けた取組を行う。

多様な障害者のニーズに対応した取組を行う。

高齢者福祉に必要な介護人材の確保や高齢者等の移動困難者支援などの取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域内の子育て支援等、障害者福祉、高齢者福祉の充実に必要な事業及び支援を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域内の子育て支援等、障害者福祉、高齢者福祉の充実に必要な事業及び支援を行う。

事業名	② 支援対象児童等見守り強化事業	区分	新規
事業概要	<p>要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子ども等の居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援等を通じて子供の見守りを行う。</p> <p>&lt;実施事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の状況把握</li> <li>・食事の提供（子ども食堂、配食サービス）</li> <li>・学習支援・生活面の助言指導 など</li> </ul>		
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	<p>&lt;目的&gt;</p> <p>児童の見守り体制を強化することを通して迅速で柔軟な支援につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の養育状況の把握の機会を増やす</li> <li>・養育者の養育相談の機会を増やす</li> <li>・児童と養育者がともにかかわる状況を把握する機会を増やす</li> <li>・官民連携型の支援活動を充実させる</li> <li>・24時間対応できる相談体制を整備する</li> </ul> <p>&lt;効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立又は孤立傾向にある児童の養育状況を対面で把握でき、また、継続的な支援活動につなげられる</li> <li>・教育相談センターで取扱っている児童支援と連携したケースワークが可能となる</li> <li>・虐待の早期認知、予防的支援が高められる</li> </ul>		

実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	—————▶					
役割分担の考え方	圏域内で同一の支援が享受できるよう、それぞれ同一条件で実施者（民間）へ委託する。					
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額
	10,169	16,295	18,866	19,446	19,446	84,222

事業名	③ 介護人材確保に向けた普及啓発事業					区分	新規
事業概要	介護に関する入門的研修の合同開催 介護の仕事の魅力発信・普及啓発 ・ 中学・高校等への出前講座の実施 ・ 市役所や商業施設等での介護現場のパネル展示 ・ 介護事業者主体の啓発事業への支援・連携活動						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	介護人材のすそ野の拡大、介護分野への多様な人材の参入促進						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	共同で企画し、事務処理・調整は館山市が主に担い、運用にあたっては館山市・南房総市役割分担の上、実施する。						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	0	100	100	100	300	

事業名	④ 地域密着型サービス等の適正化に関する共同処理事業					区分	新規
事業概要	地域密着型サービスの相互利用に関する協定締結 事業所指導や給付適正化に関する共同研究・共同実施						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	事務の効率化及び利用者・事業者の利便性向上						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	共同で研究し、状況が整い次第協定締結・共同実施 事務処理・調整は館山市が主に担い、運用にあたっては館山市・南房総市役割分担の上、実施する。						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

# 防災

## 災害に強いまちづくりの推進

【取組の内容】 激甚化しつつある自然災害に対し、圏域市民等の被害を最小限にとどめる取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、激甚化しつつある自然災害に対し必要な取組を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、激甚化しつつある自然災害に対し必要な取組を行う。

事業名	⑱ 災害発生時における被災者生活再建支援					区分	新規
事業概要	<u>災害発生時において被災者支援を迅速かつ的確に実施するため、被災者支援システムを導入する千葉県と連携し、被災者支援システムを導入・運用するほか、被災者の生活再建支援を2市が連携して行う。</u>						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	<u>災害発生時において被災者生活再建支援を迅速かつ的確に実施することができる。</u>						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
役割分担の考え方	<u>相互に協力し、共同で被災者支援にあたる。</u>						
総事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
				2,000	2,010	4,010	

## 産業振興

### 農林水産業の振興

【取組の内容】 圏域内の特色ある農林水産業の活性化に資する必要な取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域における農林水産業振興に必要な事業及び支援を行う。

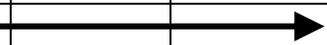
【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域における農林水産業振興に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑤ 有害鳥獣被害防止技術向上事業					区分	新規
事業概要	農作物に大きな被害を及ぼし、両市において農業振興の障害となっている有害鳥獣の被害防止対策について、捕獲、防御及び環境整備の面で両市及び両市の有害鳥獣対策協議会で連携して講習会等を開催し、被害防止技術の向上を図る。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害防止対策の促進及び農業被害の減少</li> <li>両市における被害防止対策の情報共有</li> </ul>						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
役割分担の考え方	事業の企画、各関係機関との日程及び会場の調整等を共同で行う。						
総事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	132	400	200	200	932	

## 産業振興

### 商工業の振興

- 【取組の内容】 圏域内の商工業の活性化を図るため、商工会議所、商工会等の関係団体との連携により、賑わいの創出、雇用促進、事業承継等のための取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、起業・創業支援、雇用促進等、商工業の振興に必要な事業及び支援を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、起業・創業支援、雇用促進等、商工業の振興に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑥ 中小企業支援事業					区分	新規
事業概要	<p>市内中小企業、個人事業主を支援するため、新商品開発、販路拡大、起業支援等を一括してアドバイスできる総合窓口を開設する。</p> <p>各関係機関の専門員や、地元の起業者等を相談員として招き、市内中小企業の課題や悩み等に対しアドバイスを行う。</p>						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	<p>市内中小企業全般の支援を行うことができ、総合相談窓口として、市内中小企業経営者の拠り所となる。</p> <p>商工会議所及び商工会の経営指導員が、一緒に相談内容を聞くことにより、経営指導員のレベルアップにも繋がる。</p>						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
役割分担の考え方	<p>館山市：各関係機関との日程及び会場の調整</p> <p>南房総市：会場の調整</p>						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	1,200	0	22,600	1,200	1,200	26,200	

## 産業振興

### 観光の振興

【取組の内容】 圏域内の自然・歴史・文化、産業等の地域資源を活かした広域観光を推進し、来訪者や交流人口を拡大するため、圏域の魅力の向上や圏域内外への情報発信等に必要な取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、来訪者や交流人口の拡大のために必要な取組を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、来訪者や交流人口の拡大のために必要な取組を行う。

事業名	⑦ データに基づく戦略的観光プロモーション					区分	新規
事業概要	<p>両市の観光協会が共同で実施する次の事業に補助金を交付する。</p> <p>①研究・リサーチ、②情報発信、③ブランディング、④観光コンテンツ造成、⑤顧客管理等推進、⑥プロモーション、⑦イベントの実施（(例)道の駅を活用した「海」・「花」・「食」をテーマとする「食の祭典」）</p> <p>＜実施スケジュール＞</p> <p>①～⑥：毎年度（⑥について、初年度は温泉等の現段階で共有できるコンテンツ、次年度以降は①から⑤の結果により実施） ⑦：R6・7年度</p>						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	<p>従来は各市・各施設でデータを保有していたが、圏域全体のリサーチによるデータ収集を行い、観光客ニーズに応じた観光商品の開発及びイベント等を実施することで、ターゲットを絞った効果的な観光プロモーション戦略が図られる。また、顧客の確保により、リピーター数の向上が図られる。</p>						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
役割分担の考え方	各市観光協会の支援						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	<u>12,426</u>	<u>17,944</u>	<u>19,950</u>	12,500	8,500	<u>71,320</u>	

## 環境

### 自然環境の保全・循環型社会の構築

【取組の内容】 圏域内の豊かな自然環境を守っていくため、環境保全、循環型社会の構築のための取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域内の環境保全等に必要な事業及び支援を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域内の環境保全等に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑧ 地球温暖化防止対策事業					区分	新規
事業概要	脱炭素へ向けた取組を推進するため、ゼロカーボンシティ宣言を表明した両市で連携し普及啓発を行うほか、グリーンカーボンやブルーカーボンなど海や山に囲まれた両市の地域性を活かした取組を進める。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	同じ経済圏にある両市において共通の情報発信を幅広く行うことにより、両市民に脱炭素への意識向上など効果的な普及啓発が図れる。						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	館山市が中心となり、南房総市と共に脱炭素社会の実現に向けた取組を実施する。						
総事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	650	768	1,000	1,000	3,418	

## 教育

### 教育の振興

【取組の内容】 圏域の児童生徒一人ひとりの成長を支え可能性を伸ばすために、児童生徒が学びやすい環境づくりを推進する。

児童生徒を取り巻く問題に対応する機関の充実を図るとともに、対応する教職員の資質能力の向上を図る。

圏域の歴史・文化・自然等について、一層の理解を深めるため、生涯学習活動の振興・連携を図るとともに、スポーツの振興に努める。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域の教育の振興に必要な事業及び支援を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域の教育の振興に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑨ 生涯学習活動振興連携事業					区分	新規
事業概要	<p>国から史跡指定を受けた里見氏城跡・稲村城跡（館山市）・岡本城跡（南房総市）について両市で連携してポスターやHP等により情報発信を行う。</p> <p>館山市図書館と南房総市図書館が連携し、各市で所有する資料の相互利用を行う。</p>						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	<p>史跡が持つ価値を住民に広く周知し、市民の財産である史跡として適切に保存することを目指す。</p> <p>図書館資料の相互利用を行うことにより、住民の利便性や学習意欲の向上を図る。</p>						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
役割分担の考え方	<p>ポスターを作成する場合は、両市で協議し、館山市が発注し、両市で掲示を行うほか、HPについては、両市が相互リンクをする。</p> <p>両市で資料の相互予約や貸し出しを行う。</p>						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

事業名	⑩ 社会体育施設連携事業					区分	新規
事業概要	2市の社会体育施設の相互利用を促進することにより、利用者の利便性向上及び施設利用の合理化を図る。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	両市の施設共有により、施設（重複施設など）の合理化が図れる。 利用状況共有により、混雑時の平準化が図れる。						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	条例規則等に基づく施設運用及び施設利用状況等について情報共有を行い、今後の合同作業部会において、連携した場合の懸案などの洗い出しを行う。						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

事業名	⑪ 学校の魅力向上推進事業					区分	新規
事業概要	圏域内に位置する学校との連携を強化し、「地域内外から選ばれる学校」になるための環境整備を働きかける。 ・高校の学区を超えた受験を可能とする規制緩和を目指す。 ・高校の入学者の確保に向け、遠方の志願者が入学後に滞在できる寮等の下宿先の確保を目指す。 ・中高一貫校の設立の可能性を検討する。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	・圏域内の学校の定員が確保され、高校の存続につながる。 ・圏域内の子ども達が地域外に出ることなく、地域の中で学べる環境が整う。						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	館山市が中心となって意見交換会等を実施し、南房総市はそのサポートを行う。						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

## 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### <現状と課題>

本圏域では、死亡者数が出生者数を上回る「自然減」の状態が長期にわたり継続しています。その傾向は、高齢化の進行とともに強まっており、圏域の人口減少の大きな要因になっています。

また、進学や就職等による若年層の流出が多く、結婚・出産適齢期の人口が減少することにより、出生数の減少につながっています。さらに、転入・転出の状況を見ても、転入者数が転出者数を下回る「社会減」の傾向が見られます。人口減少を抑制し、まちの活力を維持するためにも、転出者数を抑え、転入者数を増やす取組が大変重要です。特に、若い世代の本圏域への移住・定住を促進する必要があります。

本圏域の公共交通網は、鉄道・路線バス・高速バス・タクシーから成り立っています。高速バスについては、東京都心等へのアクセス性の向上などを背景に、路線・運行本数とも充実していますが、鉄道と路線バスについては、人口減少・少子高齢化などの影響により利用者が減少し、路線・運行本数の維持が厳しい状況になっています。持続可能でより利便性の高い公共交通網を実現し、市街地の回遊性向上、公共交通空白地域の解消、観光利用の促進などを目指すため、総合的・計画的な視点で取り組むことが求められています。

### 重要業績評価指標（KPI）の一覧

指標名	現状値	目標値
公共交通利用者数 (南房総・館山地域公共交通活性化推進)	3 4 7 千人 (圏域内バス路線の年間利用者数) 2 6 5 千人 (地域間幹線系統バスの年間利用者数) 2, 9 5 5 人/日 (1日当たりの鉄道駅(有人駅)利用者数) 9 1 3 千人 (高速バス年間利用者数)	各項目現状維持
移動困難者の割合 (南房総・館山地域公共交通活性化推進)	1 1 %	5 . 0 %未満
事業を通じた移住者数 (移住定住・就業促進)	6 8 人	3 5 0 人 (5か年累計)
共通の返礼品数 (ふるさと納税)	4 品	2 0 品 (5か年累計)

※重要業績評価指標（KPI）については、原則、以下のとおり記載しています。

現状値：令和2年度の実績値

目標値：令和8年度の目標値

※「公共交通利用者数」、「移動困難者の割合」については、『南房総・館山地域公共交通計画』で示した値を記載しており、現状値は平成30年度、目標値は令和7年度の値です。

## 交通

### 交通ネットワーク等の維持・整備

- 【取組の内容】 圏域内の交通ネットワークを維持・整備し、通学、通院、通勤等の交通手段を確保するため、交通事業者その他の関係機関と連携して、バス、鉄道等の公共交通の充実に向けた取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域内の交通ネットワーク等の維持・整備に必要な事業及び支援を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域内の交通ネットワーク等の維持・整備に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑫ 南房総・館山地域公共交通活性化推進事業					区分	新規
事業概要	生活圏をともにする2市において、公共交通ネットワークの維持確保・利便性向上に係る取組を推進するため、「2市にまたがる幹線系統の維持」「公共交通空白地対策」「館山市街地の回遊性向上」「新たな交通システムの検討」「観光二次交通の充実」等を軸とした事業を展開する。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	2市市民の暮らしやすさ向上、観光客や来訪者の回遊性向上を図り、「車が無くても気軽にお出かけできるまち」の実現を目指す。						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	「南房総・館山地域公共交通活性化協議会」を軸に2市合同で事業展開を図る。各市固有の案件はそれぞれで検討し事業を実施する。						
総事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	<u>35,749</u>	<u>23,593</u>	<u>18,684</u>	45,200	45,200	<u>168,426</u>	

## 移住・定住・交流

### 地域内外の住民との交流・移住定住の促進

- 【取組の内容】 圏域内の人口減少に歯止めをかけるため、圏域内への移住定住の促進、圏域内外との交流人口及びふるさと納税等による関係人口の拡大に向けた取組を行う。
- 【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、移住定住の促進、交流人口及び関係人口の拡大に必要な事業及び支援を行う。
- 【南房総市の役割】 館山市と連携し、移住定住の促進、交流人口及び関係人口の拡大に必要な事業及び支援を行う。

事業名	⑬ 移住定住・就業促進事業					区分	新規
事業概要	<p>両市の行政機関とNPO法人及び関連機関等によるネットワーク（推進体制）を構築し、両市の移住・定住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）に関する情報の一元化や相談窓口のワンストップ化を図る。</p> <p>また、定期的な意見交換・情報交換の機会を設け、圏域全体で移住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）を促進するとともに、定住に向けたフォローアップを行う。</p>						
期待される効果 （事業効果） （事業目的）	<p>情報の一元化、相談窓口のワンストップ化及びノウハウの蓄積により、相談者の負担や手間を軽減し、効率的・効果的な相談が可能となる。</p> <p>圏域としてより広範なニーズに対応できるようになる。</p> <p>圏域の魅力を一体的に発信することができ、情報発信力の強化に繋がる。</p> <p>各地域の魅力を活かし、デメリットを補完することで、効果的な移住提案が可能となる。</p>						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
役割分担の考え方	<p>館山市は、NPO法人おせっ会やNPO法人南房総農育プロジェクト等と連携を図り、両市への移住希望者や空き家バンク情報及び新規就農に関する情報を取りまとめ、各種事業の調整や対応を行うとともに、必要に応じて関係機関等に繋いでいく。</p> <p>南房総市も、館山市との情報一元化及びワンストップ窓口機能の構築に向けて、現行体制を効率化し、当該ワンストップ窓口へのスムーズな移行を図る。</p>						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	4,500	6,500	6,500	6,500	6,500	30,500	

事業名	⑭ ふるさと納税共通返礼品の企画・開発とPR					区分	新規
事業概要	<p>現在、「共通のふるさと納税返礼品に関する自治体間連携協定」に基づき両市ですすめている、共通のふるさと納税返礼品の企画・開発、PRの取組を実施する。</p>						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	<p>各市の地場産品を共通の返礼品として取り扱うことにより、それぞれの地域資源や魅力を一体として発信し、両市の地場産業の振興を図る。</p>						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	<p>企画・開発は共同で行い、寄附金の受領に伴う事務、返礼品提供事業者との契約、ポータルサイトへの掲載、返礼品の調達は各市が責任をもって行う。</p>						
総事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	0	0	0	0	0	

### 3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### <現状と課題>

行政に対する住民ニーズは多様化・高度化しており、自治体職員には的確な対応が求められています。このため、自治体職員の執務に必要な基本的な知識・技術の習得により、行政課題に対して積極的に対応できる職員を養成していくことは重要です。

また、行政の効率化や、住民サービスの向上のためにも、ICT（情報通信技術）の活用や国・事業者が提供するビッグデータ<sup>※</sup>の活用、圏域で保有する統計等のオープンデータ化により、データに立脚した取組を進めていく必要があります。

※ビッグデータ：従来のデータベース管理システムなどでは処理困難であった巨大で複雑なデータ群。単に大容量だけでなく、非定型的でリアルタイム性の高いデータが多い。

#### 重要業績評価指標（KPI）の一覧

指標名	現状値	目標値
参与の助言を受けた連携事業数 (外部専門人材活用)	—	10事業 (年間2事業)
LOGOフォーム <sup>※</sup> 活用数 (情報化推進)	2	20

※LOGOフォーム：自治体職員が電子申請や申込予約、アンケートなどのフォームを作成・集計し、一元管理できる自治体専用の「デジタル化総合プラットフォーム」。

※重要業績評価指標（KPI）については、原則、以下のとおり記載しています。

現状値：令和2年度の実績値

目標値：令和8年度の目標値

## 圏域マネジメント能力の強化

### 圏域の人材及び職員の育成並びに民間専門人材の活用

【取組の内容】 圏域のマネジメント能力の強化に向け、外部専門家の活用等を行う。

また、圏域市民の協働の促進、職員の資質向上等を図るための取組を行う。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、企画及び運営を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、企画及び運営を行う。

事業名	⑮ 職員の資質等向上事業					区分	新規
事業概要	①外部専門家による研修の合同実施 ②両市職員間の情報交換等の活性化						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	職員の資質向上。 同一職種、同一業務担当者との交流を深めることにより、事務の効率化や職場内で相談ができない(またはできにくい)職員(特に専門職や一人職場など)の精神的な安定が図られる効果が期待できる。						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
					→		
役割分担の考え方	① 合同研修：研修内容等を館山市が取りまとめ、講師派遣等の契約を行う。 ② 職員間の情報交換等：随時柔軟に対応する。						
総事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	0	294	386	386	1,066	

事業名	⑩ 外部専門人材活用事業					区分	新規
事業概要	館山市・南房総市の魅力向上・魅力発信のアドバイザーとして参与を委嘱し、地域全体の活性化と魅力向上を推進する。						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	館山市・南房総市の魅力発信、地域力・ブランド力の向上について助言をいただくことにより、シティプロモーション分野をより効果的に展開していく。						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
							
役割分担の考え方	参与の委嘱や窓口等は館山市が担い、定住自立圏で取り組む連携事業に対し、両市が助言を必要とする際は、館山市を通じて相談する。						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	935	935	<u>600</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>2,470</u>	

## 圏域マネジメント能力の強化

### 圏域マネジメントの能力の強化に係る取組

【取組の内容】 効率的な行政システム構築に向け、先進技術の導入や事務の共同処理化に努め、圏域市民の利便性向上と業務の効率化を図る。

【館山市の役割】 中心的な役割を担うとともに、南房総市と連携し、圏域市民の利便性向上と業務の効率化のために必要な取組を行う。

【南房総市の役割】 館山市と連携し、圏域市民の利便性の向上と業務の効率化のために必要な取組を行う。

事業名	⑰ 情報化推進（業務効率化）事業					区分	新規
事業概要	<p>業務のデジタル化を推進するため、AI・RPA・マイナンバーカードを活用したシステムの共同利用や経費削減等の情報共有・検討を行い、「業務改善・業務効率化」「住民サービスの向上」につなげる。</p> <p>データの利活用や施設の予約システムなどの共同利用を推進する。</p>						
期待される効果 (事業効果) (事業目的)	<p>業務のデジタル化を推進し、情報共有、システムの共同利用、オフィスファイルの共同作成・相互利用等を行うことで、「業務改善・業務効率化」「経費削減」「住民サービスの向上」が図れる。</p>						
実施スケジュール	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	—————▶						
役割分担の考え方	<p>業務の課題やシステム導入の検討について、両市で検討し、館山市が取りまとめを行い、共同利用できるものについては、館山市が主となり契約を行う。</p>						
総事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計額	
	0	1,142	1,308	1,202	1,202	4,854	

## 5. 共生ビジョンの進捗管理等について

---

具体的取組を進めるに当たっては、時代のニーズや社会情勢の変化に対応し、館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会等における関係者の意見を幅広く反映するとともに、設定した成果指標及び各種取組の進捗状況等を基に、事業の検証と検討を行います。